



# トマ喰い虫

創刊号

## 巡航核ミサイル トマホークは 原潜にのせてやってくる



この計画をくいとめられるだろうか。それを拒めよう！

# 4・29ヨコスカへ 臨海公園3じ

## 今、わたしは世界中でも 歩いてみたい

(トマホーク阻止！  
京都連絡会議・吉田さんの発言より)

### トマホーク阻止の全国キャラバンで ヨコスカへ行こう

■三月三十一日～四月一日、京都で「トマホークの配備を許すな！全国行動」の第二回目の会議が開かれた。何か新しいものが生まれつつあるのを感じさせる、熱気に満ちた会議であった。運動がどれだけの広がりを生みだすことができるのかは未知数である。しかし、会場の光明寺会館の大広間に居合わせた三七団体、一〇四人の参加者はみんな元氣一杯になって散会することができた。そして、この活気を各地でも多くの人々に伝えたいと願った。

■一月末に横須賀で第一回会議がもたれてからの二ヶ月に、全国の各地で反トマホーク運動が大いに前進したことが、この活気を生み出した第一の理由だった。新たに生まれた運動を紹介すると、北海道の地では「トマホークの配備を許すな！反核北海道行動」が準備中であり、四月二十五日に正式発足する。千葉県では「トマホーク配備に反対する五月行動・千葉県百人委員会」がつくられた。神奈川県では「署名運動「核トマホークはおことわり」神奈川県」が始まった。横須賀では文字通り草の根署名運

動が始まった。愛知では「反トマホーク運動愛知実行委員会」が構想されている。岡山で「トマホークの配備を許すな！岡山行動」が発足した。また全国労組連絡会議は反トマホーク運動への全面的取り組みを決定した。

■核トマホークの配備は、昨春秋の西ヨーロッパにおけるパーシントンGIIや巡航ミサイル配備の時のように、何月何日どの基地へ、とはっきりした形で行なわれるわけではない。潜水艦や水上艦船に配備される。その上、日本政府は、艦船への核トマホーク配備を隠し続けるだろう。トマホークが非核・核両用であることを利用して、トマホーク積載を認めた上で「非核」であると言いつけるかもしれない。■だから私たちは、「トマホーク能力をもったすべての原潜の入港を拒否する」という運動の柱を立てて攻勢的に世論づくりをする必

### 「争点をつくる」運動へ攻勢に出よう！ すべての原潜の入港を拒否しよう！

梅林宏道

■会議のホスト役を務めた京都の仲間たちの運動のインパクトが会議を興奮させた第二の理由だった。トマホーク阻止京都連絡会議のポスターが会場を飾り、本紙創刊準備号に紹介したような反トマホーク絵はがきが登場した。これまで

要がある。「待ち」の運動ではなく「争点をつくる」運動づくりを始めよう。■「アメリカから事前協議の申し出がない限り核の持ち込みはない」という日本政府のウソを打ち破ることができるとは、かまは、「もはやそんな議論の繰り返しは許さない」という世論を、私たちがいかに大きく作りうるにかかっている。

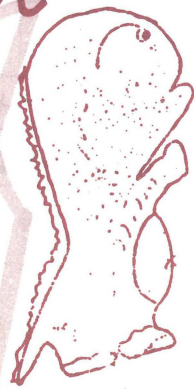
活動に一度も参加したことのない若者たちが、「ヤング・トマ連」や「反戦うたグループ・ドタバタギャルズ」などの自立的なグループを創って動き出した。立命館大学には「トマホーク止めちゃおう立命クラブ」(トマト倶楽部)もあると言う。ヤング・トマ連の一人が「行動する前に反応を読みすぎるのを止めよう」と語ったのは印象的だった。■そして、トマホーク阻止京都連絡会の吉田満智子さんが、「私はいま、世界中を歩きたい気持だ。自分の言葉でトマホークの危機を訴えるために、佐世保と横須賀を行脚して結びたい」と訴えたことが、もう一つの感動を生み出した。横須賀の若者が「京都まで来て決意表明をするとは思わなかった」と言いながら、自分もまたキャラバンに参加することを約束した。

●中曽根首相、レーガン大統領あて署名運動を広げよう。署名用紙を御請求下さい。第一次署名集約は五月二〇日。●全国紙に大きな意見広告を出そう。詳細は「意見広告の会」〇三(三七九)〇〇四三。日本はこれでもいいのか市民連合内。●三種類のスライドを貸し出し中です(各二〇～二五分)。スライド上映会をいたるところで開いて下さい(詳細は〇号)。

「この闘いは永く続く普遍的な闘い、政治的に決着をつけるというより、私たちが本当にどう生きてゆくかが試されているのだと思う。」

トマホーク阻止京都連絡会

吉田満智子さん



トマ喰い虫  
博物誌

(吉田さんというわけではない)

■二人の「トマ喰い虫」に対談をしていただきました。一人は京都でトマホーク阻止京都連絡会の吉田満智子さんで、もう一人はヨコスカ市民グループで頑張っている小園弥生さんです。吉田さんは五月から六月にかけてのトマホーク阻止の全国キャラバンを歩きとおすことになっています。また小園さんはトマホークの配備に反対する、ヨコスカの新しい唄の詞を書いています(『トマ喰い虫』の〇号のタイトルを見て下さい)。

■二人は電話で対談をしてくださいました。もちろん初対面(談)だそうですが、編集部が無理をいってお願いしたものです。

吉田／こんばんは。はじめまして。小園／こんばんは。何かお話ししましょうか。

吉田／今日はね、私たちの主催で集いとデモをしまして『われわれは生き残る』というスライドを見て…。四〇人位の参加がありました。

小園／何か女の人たちの運動の母体があるのですか？

吉田／何もないんです。なかったんです。去年の夏ですが、トマ連ができたときは男ばかりで、女は私を含めて四人だけだったのね。それでその四人がとにかく呼びかけて、私のほかは皆若い二〇代の

方ですけどもって女たちが知っていません。小園／どんな手段で訴えていったんですか。

吉田／去年の十一月ぐらいから毎週月曜日と火曜日に市役所前と府庁前でNOトマホークのピラをまいてるの。もう二一週になるんですけど。雪の日も雨の日も寒い朝もまき続けて、やっとあたたかくなる頃にはピラをとる人との間に信頼関係のようなものが生まれたりして、それで……。

小園／ヨコスカでもって女の人や若い人たち——私も若いんですけど——に話していかなくちゃと

思っているんですけど、若い女の人なんてピラをとってもらうのが精一杯でくやしくなります。

吉田／そうですね。でも一対一で話していくということがとても大切よ。ちょっと知り合い程度の人にひとりひとり話をするの、私たちは何か月も何年も経ってからの、わかつたような気がするなんて、運動に加わってくる人もいます。

小園／ヨコスカにいてるとね、いつも基地が目の前にあるでしょう。チムスピリットに反対して、リムバックに反対して、ああ今度はトマホークかあ、もうウンザリっていうのが運動する側としても正直なところ……。日曜日なんかは街頭に立って立ってないで、んびり休んでいたいのも本音なんですけれど、トマホークっていうと大変なことなので、重い腰を上げて出かけるんです。京都の方が特にトマホークということによっていらっしやる闘いの根拠みたいな

ものはあるんですか。

吉田／京都には基地があるわけじゃないんですよ。京都だからやるんじゃないって、今の世の中を見たらときに、世界の危機の状況というのがあってその中でどう生きていくのかと。私自身は昨年春、テン・フィート運動の『核狂乱の時代』というフィルムを見まして「ああ世界の核状況っていうのはもうここまで来ちゃってるか」とそう言ってみれば非常にショックを受けたわけです。

で、このショックをほかの人たちにも味わってほしいというか、

「やっとあたたかくなる頃には

ピラをとる人との間に信頼関係

のようなものが生まれたりして……」

吉田／第三世界は日々沢山の人が飢えて死んでいっている。こういうことに目をつぶって、自分たちは見かけの繁栄と、物質的な豊かさを追求していくのかどうか、私たちは迫られていると思うんです。

小園／私が共鳴するのは、非核市民宣言・京都の終わりの方ですね。「核は常にアジア・第三世界の解放闘争への威嚇として用いられてきたし、これからはもうどうしようもない」と書かれていますよね。で、だからこそ私たちはトマホークの配備をくいとめなければならぬ、と思うんです。ところが今運動していて、ロシキがだんだんひろがっていると、そのところが

知ってほしいと思いました。そうして活動しているうちに夏ニュージャージーが来るというので、それに反対するハンストに参加したのね。そんなことがキッカでトマホークに反対し、もっと安保とか核や軍事のことを勉強するようになったんです。そして、ずっと考えているのは結局、今の私たちの生活をどうするのか、肯定して核を選ぶのか、それとももっと根本から変えてゆくのか……。

小園／それは非常に普遍的な課題ですよ。言ってみれば……。

吉田／そういうところもあるね。小園／それだと、単に「殺られるゾー」っていうだけでそれじゃあ「いいよ」って言う人もいるだろうし、そのドーカツっていうのは仮りに「殺られる」という点に反応して署名してくれたとしても、それは「今の生活が守れなくなるゾー」っていう敵側のドーカツとどれほど違うのか。運動のひろがりの中で多くの人と共通の意志を確めていく、その共通点がどんどん後退していくこともあるわけですよ。

吉田／だから、それは六月までなんて短期間でわかることではないですよ。トマホークが配備されたら

## 京都での 第二回全国会議 の決議

●トマホーク配備が目前に迫ったなかで、わたしたちは「トマホーク配備を許すな！ 第二回全国会議」を開いた。

●トマホーク配備は、非核三原則を公然と破るのみならず、「極東におけるかなめ石」として日本は核の先制攻撃基地となり、極東における米ソの軍事的緊張は極度に高まり限定核戦争の危機は現実のものとなります。

●十五年戦争の結末であり、同時に東西冷戦の出発点ともなった広島、長崎の被爆体験をもつ日本の民衆は、東西ブロックを超え核戦争を阻止する人類史的使命を負っているとわたしたちは確信します。

●トマホーク配備は、この使命を果たすのか、今のままの生活にしがみついて核戦争による絶滅の道を選ぶのかをわたしたちに迫っているのです。

「核艦船の寄港を拒否するならば、日米同盟や在日米軍基地の存在は終り」(ライシャワー)といわれるように、トマホーク阻止の闘いは安保を終らせる闘いです。それは、安保によって保障された軍事経済大国を民衆が捨て去り、アジア民衆とともに生きる人間らしい生き方を選びとる未来への出発点となるでしょう。

反トマホークの声を更に広げるために創意工夫をこらし、大胆に行動を起こし、一人一人が



# 全国の トマ喰い虫は うづめく②

- トマホークの配備を許すな！反核北海道行動  
札幌市北区北18西5 ミニコミ喫茶ひらひら気付  
☎011(746)2801
- トマホーク配備に反対する五月行動・千葉県  
百人委員会 船橋市西船1-24-11-611 島田  
信子 ☎0474(33)5282
- トマホークの配備を許すな！首都圏運動 東京  
都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12北参道ダイヤモ  
ンドパレス405号 ☎03(402)0122
- 署名運動「核トマホークはおことわり」神奈  
川 横浜市神奈川区高島台15の2 黄土社気付  
☎045(321)8880、0427(55)2710
- 反トマホーク愛知県実行委員会 名古屋市昭  
和区花見通1-59 川名文庫内(仮) ☎052(76  
2)5118
- トマホーク阻止京都連絡会 京都市中京区六  
角通室町西入ル玉蔵町127 吉田満智子方 ☎07  
5(255)1261
- 六月共同行動実行委(仮)準備会 大阪市北  
区天神橋1-19-16木田鹿ビル2F「今こそ世  
なおしを！市民連合」 ☎06(357)7813
- トマホークの配備を許すな！岡山行動 岡山  
市南方1-7-13 ☎0862(23)6884(山内)、  
0862(52)1111内線566(好並)
- 原発ごめんだ、ヒロシマ市民の会 広島県佐  
伯郡五日市町村海老園2-17-9 木原方 ☎08  
29(22)4850
- 軍拡・改憲の中曽根を打ち倒そう！福岡行動  
福岡市東区箱崎3-13-1 石崎方 ☎092(641)  
7923、092(771)6230(ペリパトス)
- 非核宣言・サセボ 佐世保市十郎新町5-8  
福田英明方 ☎0956(31)0381
- 核てろ安ぼてろいらんばい熊本の会 熊本市  
北千反畑1-9-10荘ビル3F ☎0963(45)5904
- この他にも静岡・東北など多くの運動体(ト  
マ喰い虫たち)が動いています。次の回で紹介しま  
しょう。(編集部)

## トマ喰い虫に なるために②

- 「許すな！トマホーク、日本列  
島が核空母に」(八三年八月一日  
発行)軍事問題研究会/〇三  
二九一九七七九/三〇〇円)
- 「ストップ！トマホーク」(一  
九八四年三月一日発行)トマ  
ホーク阻止京都連絡会/〇七五  
二五五一一二六一/三五〇円)
- 「いかにもやばいトマホーク」  
(一九八三年六月一日発行)ヨ  
コスカ市民グループ/〇四六八  
一五五一一〇一五七/一〇〇円)
- 「労働情報外」特集「巡航ミサ  
イル・トマホーク阻止にむけて」  
(一九八四年二月三日発行)労  
働情報調査部/〇三三四三三  
三七五/二〇〇円)
- 「ノン・トマホーク」核出撃基  
地化を許すな(一九八三年八月  
六日発行)アジア・太平洋反核  
パンフ編集委員会/〇三二二九三  
一八三六八/三〇〇円)
- 「反トマホーク討議パンフ」(仮)  
(発行)労働情報/〇三三四三三  
一〇三七五/一〇〇円)

### 神奈川

#### 自然保護連合に トマホークアンケート

六月九日(一〇日、八ヶ岳で第

一四回全国自然保護大会が開かれ  
る。数年来、自然保護大会には「軍  
備と自然保護」をテーマにする分  
科会がもたれて来た。ここでは「戦  
争こそ最大の自然破壊」というあ  
たりまえの認識と、既に反戦と自  
然保護を同じ地平で闘っている  
という人々の実践的現実の上に立っ  
てねばり強い討論が重ねられてい  
る。

今回も「軍備と基地に対するた  
たかい」という分科会が設けられ  
るが、分科会討論のために「トマ  
ホークの配備を目前にして、あな  
たの意見をおきかせ下さい」とい  
うタイトルのアンケート調査が  
行なわれている。実行をしている  
のは「神奈川防災を考える会」(相  
模原市矢部三一一一―二一、電話  
〇四二七―五六一―五一一四)で、  
質問事項は①一九八二年以降のあ  
なたの(あるいは周辺の)反核運

動の様子をお知らせ下さい、②そ  
の中でぶつかった問題(肯否両  
面)を具体的におおし下さい、  
③いま、今後、反核運動をどう進  
めようと考えていますか(あるいは  
はどうすすめるべきだとお考えで  
すか)、の三項目。

全国自然保護連合参加団体約一  
五〇と関連団体約三〇にアンケ  
ーが送られ四月一杯に集約される。  
ここにも、反トマ運動の貴重なと  
り組みが始まっている。

### 京都

#### ヤング・トマ連 ガンバル!

「若い人も核兵器は絶対にイヤ  
だと言う。しかし燃えないんだ。  
ボクらはともかく外へ出ようと思  
った。やっているうちにアイデアが  
出てくる。平和の先制第一撃を、  
と言うのが僕らの合言葉だ。僕ら  
はこれまで活動の経験は全くない。  
活動経験のある人は読みすぎてい  
るのではないか。正直に自分たち  
の思いをぶつけると何が起これ  
ると信じる。」

ミサイル・マンと言って三角の  
帽子をかぶって街へ出る。外国人  
の観光客が手をふって写真機を向  
けた。地元の人が手をふってくれ  
るようになりたい。祝、核配備  
と書いたビラをまくと、キツと反  
応がくる。高校の前で反戦ニュー  
スをまいたら、一緒にニュースづ  
くりをやりたいという人が出て来  
た。小さな紙芝居をつくった人が  
いる。

自分たちが大きくなるとは考え  
ない。いろんな種をまくことが大  
事なんだ。」  
京都の会議でヤング・トマ連の  
発言は新鮮な風を吹き込んだ。

### 横須賀

#### 被爆者の会も参加 週刊「反核草の根通信」

横須賀の非核市民宣言運動など  
が連絡先になって展開されている  
「巡航核ミサイル・トマホークは  
原潜ののってやってくる!だから  
市長さん知事さん、原潜の入港を  
拒否してください」という署名運  
動は本紙準備号にも紹介したよう

に大きな広がりを見せている。市  
内の被爆者団体である「なぎさ会」  
(神奈川県原爆被災者の会横須賀  
支部)が総会を開いて取り組みを  
決定し四月一日記者会見をした。  
三〇〇人の会員から一〇人ずつが  
グループになってタスキを掛けて  
毎日曜日、署名を訴えて街頭に立  
つ。

署名呼びかけ人は二週間の間に  
一五〇名も増えて現在は三二〇人  
になった。非核市民宣言運動・ヨ  
コスカの人々の語るところによれ  
ば、彼らの発想やエネルギーは、  
これまで活動をやって来たものの  
意表をつき、予想を越えた展開を  
見せる。それが思いがけない広が  
りを生み出して来た。

風呂屋さんにポスターをはろう、  
ということでもそれ用のポスターが  
出来た。毎日曜日に街頭に立って  
署名を訴えることにしたが、その  
第一日(四月一日)はあいにく  
の雨だった。活動家たちはほとん  
どその日は流れたと思った。とこ  
ろが「こんな兩位で止めてどうす  
る」と一喝されて敢行。その上、  
堂々と駅前ビニールでテントを  
造ってしまった。「奪われていた

ものを取り戻す」一歩が始まって  
いると考えるのは大袈裟だろうか。  
三二〇人にふくれ、おそらく五  
〇〇人に達するであろう呼びかけ  
人に刻々の情報や行動日程を伝え  
るために、週刊「反核草の根通信」  
が四月一三日から出されることにな  
った。ハガキ大にビッシリと情  
報やマンガをつめ込む。

### カンパ・購読料は

トマホークの配備を許すな!  
首都圏運動  
振替/東京一六一三六一四八

### 編集後記

■今号の編集は、福生市民連合の  
遠藤がひきうけています。米韓合  
同演習チームスピリット84が事実  
上四月の中旬に終了しました。  
■横田基地での連続監視も四月十  
六日に八〇日を越え無事終了しま  
した。それでもまあ、毎日のように  
基地を見張ってはいませんが、都心  
のトマホークの事務所まで、エッ  
チラ・オッチラ通っています。空

■急募/編集スタッフ 素人可・  
仕事多忙・要根性

が静かな場所は心が落ちます。  
■さて、トマ喰い虫の第一号です。  
運動の情報紙としては物足りなく  
性格がイマイチ明確でなくスイマ  
セン。牙えているのは、横須賀の  
中学生の描く「トマ喰い虫」の絵  
です。この新聞の題名も「トマホ  
ーク」をバリバリと喰いつくす人  
々の胃の力を信じつつ、名付けま  
した。消化不良になりませんよう!